

防災担当大臣

小此木 八郎 様

**2021年2月13日発生
福島県沖地震に係る緊急要望**

2021年2月16日

郡山市長 品川 萬里

【人口：330,204人（2021年2月1日現在）、面積：757.20km²】



SDGs 未来都市こおりやま

2月13日土曜日23時8分、福島県沖深さ約60キロメートルを震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、本市においては、震度6弱を観測いたしました。

この地震により、人的被害については、発生直後、足の骨折など重症の方々14名を緊急搬送しております。

また、一般住宅を含めた物的被害については、市道へのブロック塀の倒壊や瓦・ガラスの散乱、建物躯体や給排水設備の配管等の破損による建物内部への被害も多く確認されております。

公共施設については、「郡山市中央図書館」の外壁崩落、「郡山しんきん開成山プール」の地下機械室の浸水、水道、下水道の漏水、各施設における天井や壁の一部崩落などを確認しております。

現在、災害の状況把握に努めているところでありますが、余震等の発生により官公庁や民間の建物等の被害も、さらに拡大するおそれもあります。

本市の事業者は、16,633社のうち中小企業が16,472社（2014経済センサスより）と99.0%と多くコロナ禍において経営状況も悪化している中で、マスク着用など新しい生活様式に配慮することで通常以上の時間的・作業的な負担が増大し、建物等の復旧についても困難な状況であります。

つきましては、早期の復旧・復興、被災者の方々の不安解消に向け、今回の震度6弱の地震による被害に加えて新型コロナウイルスの陽性者が連日発生している現状をご認識いただき、次の事項について早期の対策を講じられますよう強く要望いたします。

1 激甚災害の早期指定など、災害復旧に係る財政措置等の拡充について

当地震を早期に激甚災害に指定するとともに、新型コロナウイルス感染症対策の中での災害復旧事業等を速やかに行うため、特別の財政措置を講じること。

2 ライフラインの早期復旧及び被災者等に対する支援について

電気、ガス、水道、地域公共交通、廃棄物処理など、ライフラインの早期復旧に係る支援を行うこと。

3 被災した情報通信機器等への助成措置について

災害からの迅速な復旧とデジタルトランスフォーメーション（DX）化を進めるためには、情報通信機器等が必要不可欠なものであることから、地震等により被災した通信機器等を対象とした助成措置を講じること。

4 ニューノーマルに対応した災害復旧体制の構築について

災害復旧にも新型コロナウイルス感染症対策を行う必要があり、時間的・コスト的負担も大きいことから、DX活用型復興ニューノーマル体制の構築を行うこと。

5 高架水槽の破損被害に係る支援について

医療施設や商業施設等の高架水槽の破損等による水害に対して、復旧に係る財政支援を行うこと。

【被災状況】



【郡山市中央図書館】

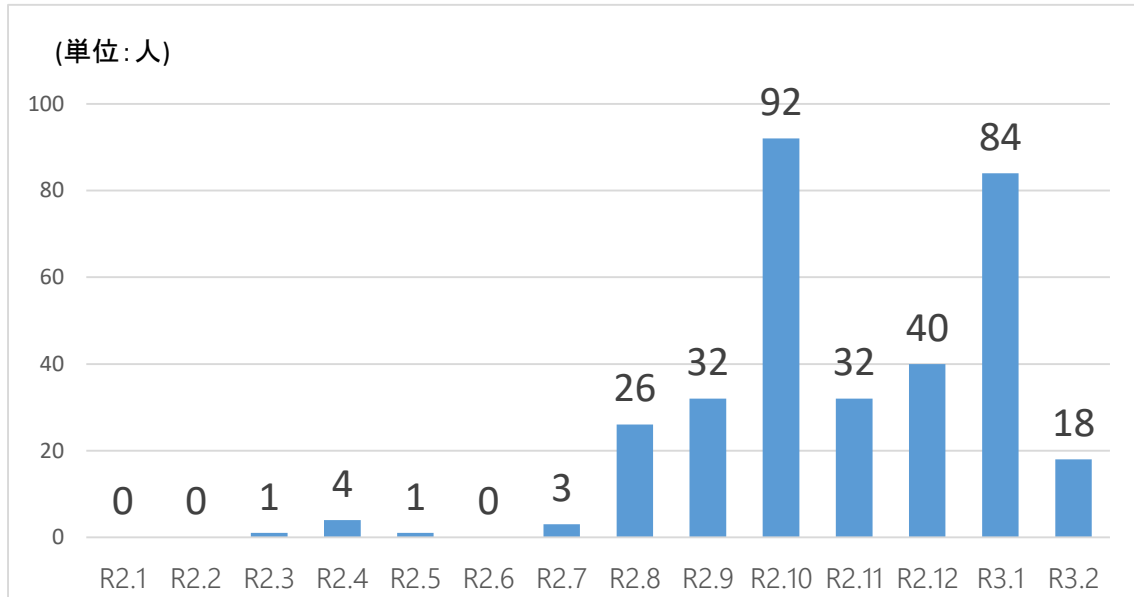


【郡山しんきん開成山プール（地下機械室）：浸水深2m】

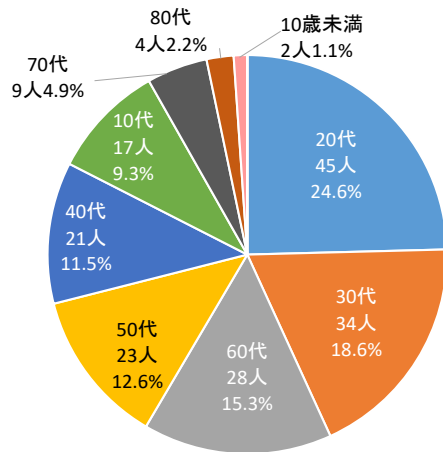
【郡山市の新型コロナウイルス感染症の発生状況】

(2021年2月15日現在)

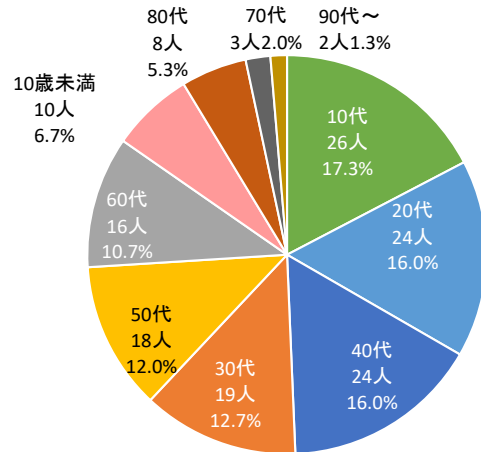
◆月別陽性患者発生数



◆陽性患者の年代比 (男性)



◆陽性患者の年代比 (女性)



【添付資料】

1. 福島県沖地震の被害状況 (2月15日14時現在)
2. 福島県沖地震の被害状況一覧 (2月15日14時現在)